

私は、今後の中国では鄧小平的な傾向が、社会の底流として力を持ってくると思います。従って中国の外交が、たとえばソ連に對しても、毛沢東の怨恨や憎悪に根ざしたものから、もう少し政策志向型のものに向かつていくんじゃないかと懸念します。その点で、中ソ関係の流動化ということは、當然ありうると思うんです。

一方、ソ連の側は鄧小平を一度も批判したことがないんですね。一般には、鄧小平は中ソ論争の第一線でスースロフと渡り合った人物とされているんですが、しかしこれはいつてみれば実権派レベルで渡り合ったんですね。そのレベルでの対決というのは、毛沢東の感情的な反ソとは、違うと考えてよさそうです。

これに関連して私は、中ソ関係と東欧の関係にある米中関係の面で、鄧小平がいち早くパンス國務長官と会談に就いたことを、非常に興味深く見ています。内政が外交政策に翻訳される過程で、指導者の個性が政策決定に大きく影響するものですが、その点でまさに内政と外交とをつなげる人物として鄧小平の存在が目まざまと現れているように思います。

で、こういうふうにみますと、米中関係も中ソ関係との関連で、かなり選択的などいいます。しかし、そんなものにだんだんなっていくような気がします。

今回のパンス訪中がすぐ米中外交樹立に結びつくことはないでしょう。しかし、カーター政権の外交当局者が、鄧小平と密に合ったという話は、太平洋を距てての米中の連環、提携関係の強化の方

向を示していると思う。

最近アメリカでは、中国に軍事援助してもいいとか、日米安保体制をさらに日中米の安全保障体制に発展させるべきだといった意見もあります。

米中の提携は対ソ政策上アメリカにとつて都合いいし、それは当面中国としても確かに受け入れやすいものです。しかし、実権派の視点で物事を考えることになる

と、それにおおのずから境界があるといふことに、彼ら自身気がついてくるんじゃないでしょうか。

つまり米中接近は、ソ連の脅威を増大させない範囲内のものでなければならず、その範囲を越えれば、軍部などから反対する声があることになるでしょう。

台湾現状維持論

桑原 その意味で、華國鈔の政治報告の中で、平和五原則による国家関係を中国は拒否しないというくだりのあることが注目される。

いま一つ、今度の人事で汪東興と共にもう一人、耿飈の政治局員と兼任が注目されます。党中央の対外連絡部長をやつてる耿飈が政治局に大抜てきされたのです。この耿飈は毛沢東の死の直前に、北京外交学院の卒業式での演説で、台湾問題について、現状維持論を唱

声ある声

のは、大体において欠席という返事を出している。ロクでもない本を出して、スラリと「有名な人」を発起人として並べていても、その発起人の半分以上も欠席しているのは珍らしくないし、五千円とか一万円もとられて、その上、お座りのスピーチをイヤと尋うほど聴かされ、そのロクでもない本をお土産に持って帰らせる。お土産つきの強制押しつけ販売じゃないか。

●「近頃ではオチオチ死ねないね。ふだんはお彼岸と盆にお花畑集めに機嫌廻りをする坊主が、ひとたび葬式となると、戒名料の最低が三十万ときては、ただあきれるばかり。子孫にしても本名なすと思ひ出すが、戒名で覚えてるのは珍らしいだろう。坊主だけを肥らせることはないネ」(浅草のおでん屋にて)

●最近出版記念祝賀会なんて

えてるわけです。台湾を米国に守つてもうえは、ソ連の南下を防いで、中国にとつてもプラスじゃないかというふうな考え方です。要するに形式的にさえ、台湾が中国の領土の一部だということが認められさえすればいいんだ、それで米中正常化してもいいんだというふうなニュアンスを出している。

彼のこのような考え方が、中国でどれだけの説得力を持っているのかわかりませんが、ともかく党の対外連絡部長の発言ですからね。

中国がもしこのような線を打ち

新聞は責任をとれ

人民日報のまるうつし

中嶋 私は現代中国研究をあえて現代中国学と称して、暗中模索してゐるわけですが、中国研究のやり方にもルールがあるわけですね。そのルールを無視して中国を論じるのが間違ひのもので「人民日報」は、発行部数が三百四十万部で、中国人の二百数十人に一部の割りでしかいきわたらないわけですね。しかも「人民日報」は宣伝と教育のための機関紙です。

しかしそれはその時々権力を握っている者が、同時に編集権を握るわけで、その意見の反映ではない。昨年、毛沢東の死後九月三十日まで、「規定方針とおりやれ」という言葉が毎日のように「人民日報」の語録のところに

出ていた。それが十月になるとピタッとやんだ。つまり九月中は四人組が「人民日報」の編集権をもっていた、ということですね。

ところで、このような新聞のいうことを、そのまま翻訳して、これが中国の政治だということに日本の新聞の根本的な誤りがあるわけですね。「人民日報」はその時点において一応権力を握っている者の、宣伝と教育のための道具でしかないということがわかれ

ば、「人民日報」をそのまま翻訳したような記事は書かないでほしい、また中国的な表現の誇張を削り引いて読むこともできるわけですね。中国が勝利だ、勝利だというとき、あるいは団結だ、団結だというとき、実際には問題があることも察しがつくのです。

これはひとつの例にすぎませんが、こうした基本的なルールみた

いなものが、北京の日本人特派員をはじめ日本の新聞に大きく欠けているように思ふ。

桑原 そのとおりですが、毛沢東というスーパーマンが統治しておつた時代でさえも、「人民日報」を克明に読むと、実に意地の悪い、あるいは非常に深刻な意味を含んだ報告があるわけですね。私がもし北京特派員だったら、ほかに取材しなくても「人民日報」を克明に読んで記事を書きま

ね。ところが日本人記者たちには、中国の党機関紙で発表されているものさえも記事にするのを遠慮しなくやらないというふうな考え方がありましてね。

中嶋 そうですね。日本の記者は大見出しの部分だけしか翻訳しない。「人民日報」の文意の行間にかがれる微妙なニュアンスなど、全然読み取ろうとしないわけですね。

桑原 われわれ第三者からい

新聞記事は反面教師

本紙ですが、今度の党大会

。いま、とっても好評です。



標準現金価格 ¥59,800

●お求めには、便利な(ホンダクレジット)がご利用いただけます。●普通免許でもOKです。まだ免許のない方には、安全運転普及指導員が、楽しく、安全な乗り方の指導と原付免許のガイドをいたします(原付免許安全教室)。

ロードパルで、気軽にサッとひと走り。とっても、さわやかです。そんな時こそ、めずらしいお店を見つけたり、お気に入りのカフェテラスを見つけたり、久しぶりのお友達と出会ったり、「楽しい出来事」とめぐりあうものです。きっと、今日もどこかでだれかが、ラッタッタと、お出掛けですね。

ロードパルNC50●車両重量44kg●2サイクル49cc 2.2馬力●燃費75km/ℓ(30km/h定地走行テスト値) ●タップスター方式●車体色は4種あります。